



## 2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 日本ギア工業株式会社

コード番号 6356 URL <https://www.nippon-gear.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 寺田 治夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 林 秀樹 TEL 03-6363-3170

半期報告書提出予定日 2024年11月13日 配当支払開始予定日 2024年12月5日

決算補足説明資料作成の有無： 無

決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	4,241	1.9	890	10.9	919	11.8	625	14.5
2024年3月期中間期	4,164	30.8	803	273.9	822	255.9	545	180.3

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	43.91	—
2024年3月期中間期	38.35	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期中間期	14,403	11,648	80.9	818.17
2024年3月期	14,677	11,096	75.6	779.37

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 11,648百万円 2024年3月期 11,096百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	3.00	—	5.00	8.00
2025年3月期	—	4.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	4.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 2025年3月期の業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,300	△3.2	1,640	△22.9	1,670	△22.4	1,150	△25.3	80.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 中間財務諸表及び主な注記 (4) 中間財務諸表に関する注記事項 (中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期中間期	14,280,000株	2024年3月期	14,280,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	42,704株	2024年3月期	42,654株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2025年3月期中間期	14,237,303株	2024年3月期中間期	14,237,431株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料 3 ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## 添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当中間期の経営成績の概況.....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況.....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間貸借対照表 .....	4
(2) 中間損益計算書 .....	6
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 中間財務諸表に関する注記事項 .....	8
(中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当中間期の経営成績の概況

当中間会計期間におけるわが国経済は、堅調な企業収益を背景とする設備投資の持ち直しや、賃上げに伴う雇用・所得環境に改善の動きが見られるなど、景気は緩やかに回復しました。一方で、不安定な世界情勢のなか長期化する原材料・エネルギー価格の高騰や欧米における高い金利水準の継続に伴う影響など、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当中間会計期間の受注高は、49億59百万円(前年同期比5.9%減)、売上高は、42億41百万円(前年同期比1.9%増)、受注残高は、52億81百万円(前事業年度末比15.7%増)となりました。

損益面につきましては、売上原価が24億7百万円(前年同期比6.2%増)、販売費及び一般管理費は前払年金費用の数理計算上の差異(有利差異)1億27百万円を一括処理したことにより、9億43百万円(前年同期比13.7%減)となりました。これにより、営業利益は8億90百万円(前年同期比10.9%増)、経常利益は9億19百万円(前年同期比11.8%増)、中間純利益は6億25百万円(前年同期比14.5%増)となりました。

各セグメントの業績は次のとおりです。

#### ①歯車及び歯車装置事業

##### a. バルブ・アクチュエータ

受注高は火力発電所、原子力発電所向けが減少したことにより、前年同期比7.7%減少いたしました。売上高は石油・ガス向け、鉄道船舶用が増加したことにより、前年同期比1.3%増加いたしました。

##### b. ジャッキ

受注高は自動車用、半導体・液晶向けが減少したことにより、前年同期比22.1%減少いたしました。売上高は半導体・液晶向け、産業機械用が減少したことにより、前年同期比7.0%減少いたしました。

##### c. その他増減速機

受注高は化学、上下水道向けが増加したことにより、前年同期比2.6%増加いたしました。売上高は化学、産業機械用が増加したことにより、前年同期比33.4%増加いたしました。

##### d. 歯車

受注高は特殊車用、産業機械用が減少したことにより、前年同期比37.7%減少いたしました。売上高につきましても特殊車用、産業機械用が減少したことにより、前年同期比6.8%減少いたしました。

#### ②工事業

受注高は原子力発電所、石油・ガス向けが増加したことにより、前年同期比7.5%増加いたしました。売上高は火力発電所、上下水道向けが減少したことにより、前年同期比2.1%減少いたしました。

### (2) 当中間期の財政状態の概況

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当中間会計期間末における財政状態につきましては、流動資産は前事業年度末に比べ5億30百万円減少し102億98百万円となりました。これは主に現金及び預金が4億25百万円、棚卸資産が1億32百万円増加いたしましたが、売上債権等が10億91百万円減少したことによるものであります。

固定資産は前事業年度末に比べ2億56百万円増加し41億4千万円となりました。これは主に有形固定資産が1億3百万円、無形固定資産が11百万円、前払年金費用が1億41百万円増加したことによるものであります。

流動負債は前事業年度末に比べ7億81百万円減少し20億95百万円となりました。これは主に仕入債務が3億52百万円、未払法人税等が1億78百万円減少したことによるものであります。

固定負債は前事業年度末に比べ44百万円減少し6億58百万円となりました。これは主に長期借入金が43百万円減少したことによるものであります。

純資産は前事業年度末に比べ5億52百万円増加し116億48百万円となりました。これは主に利益剰余金が5億54百万円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況の分析

当中間会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前事業年度末に比べ4億25百万円増加し49億円(前事業年度末比9.5%増)となりました。

当中間会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は、7億85百万円(前年同期比47.2%増)となりました。これは主に税引前中間純利益9億19百万円、減価償却費1億円、売上債権の減少11億16百万円の収入に対し、棚卸資産の増加1億32百万円、仕入債務の減少3億57百万円、前払年金費用の増加1億41百万円、法人税等の支払額4億66百万円の支出によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により支出した資金は、2億13百万円(前年同期比207.6%増)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出1億87百万円、無形固定資産の取得による支出23百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により支出した資金は、1億46百万円(前年同期比15.3%増)となりました。これは主に長期借入金の返済による支出76百万円、配当金の支払額70百万円によるものであります。

(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、2024年5月13日の「2024年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」で公表いたしました中期の業績予想を上回っておりますが、現時点では売上予想・費用発生予想が困難なことから利益を合理的に算定できないため、通期の業績予想は変更しておりません。今後、利益予想が可能となった時点で速やかに開示いたします。

## 2. 中間財務諸表及び主な注記

### (1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当中間会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,475,606	4,900,653
受取手形、売掛金及び契約資産	2,256,035	1,778,921
電子記録債権	1,793,668	1,178,832
商品及び製品	210,639	213,875
仕掛品	576,718	505,038
原材料及び貯蔵品	1,418,855	1,619,558
その他	97,883	101,905
流動資産合計	10,829,407	10,298,786
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,013,291	1,013,291
その他(純額)	755,432	859,366
有形固定資産合計	1,768,723	1,872,657
無形固定資産	115,951	127,149
投資その他の資産		
投資有価証券	982,806	983,452
前払年金費用	908,161	1,049,301
その他	76,502	76,190
貸倒引当金	△4,326	△4,326
投資その他の資産合計	1,963,144	2,104,618
固定資産合計	3,847,819	4,104,426
資産合計	14,677,227	14,403,212
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	482,645	384,652
電子記録債務	897,954	643,341
1年内返済予定の長期借入金	144,147	111,812
未払法人税等	501,956	323,071
賞与引当金	205,034	203,994
その他	645,674	428,890
流動負債合計	2,877,411	2,095,763
固定負債		
長期借入金	222,317	178,511
退職給付引当金	1,358	1,100
資産除去債務	167,222	167,315
その他	312,745	312,024
固定負債合計	703,643	658,951
負債合計	3,581,055	2,754,714

（単位：千円）

	前事業年度 (2024年3月31日)	当中間会計期間 (2024年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,388,800	1,388,800
資本剰余金	844,542	844,542
利益剰余金	8,412,713	8,966,722
自己株式	△15,707	△15,739
株主資本合計	10,630,348	11,184,325
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	465,823	464,172
評価・換算差額等合計	465,823	464,172
純資産合計	11,096,171	11,648,498
負債純資産合計	14,677,227	14,403,212

(2) 中間損益計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	4,164,454	4,241,942
売上原価	2,267,135	2,407,548
売上総利益	1,897,318	1,834,394
販売費及び一般管理費	1,093,875	943,653
営業利益	803,443	890,741
営業外収益		
受取利息	13	192
受取配当金	13,385	16,083
出向者負担金	8,845	3,645
受取補償金	—	7,052
その他	3,358	3,610
営業外収益合計	25,602	30,585
営業外費用		
支払利息	1,315	1,033
支払手数料	745	750
為替差損	2,062	—
契約解約損	2,325	—
その他	335	304
営業外費用合計	6,784	2,087
経常利益	822,261	919,238
税引前中間純利益	822,261	919,238
法人税等	276,301	294,042
中間純利益	545,960	625,196



(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前中間純利益	822,261	919,238
減価償却費	80,141	100,478
受取利息及び受取配当金	△13,398	△16,275
支払利息	1,315	1,033
為替差損益(△は益)	△32	17
契約解約損	2,325	-
賞与引当金の増減額(△は減少)	△2,950	△1,039
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△116	△258
前払年金費用の増減額(△は増加)	25,975	△141,139
売上債権の増減額(△は増加)	245,991	1,116,896
契約資産の増減額(△は増加)	△49,809	△24,947
棚卸資産の増減額(△は増加)	△213,776	△132,260
仕入債務の増減額(△は減少)	88,650	△357,531
契約負債の増減額(△は減少)	△131,390	8,704
未払又は未収消費税等の増減額	△20,268	△87,185
その他	△17,805	△149,101
小計	817,112	1,236,628
利息及び配当金の受取額	13,398	16,275
利息の支払額	△1,273	△1,115
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△295,705	△466,199
営業活動によるキャッシュ・フロー	533,531	785,589
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△55,521	△187,384
有形固定資産の売却による収入	100	-
無形固定資産の取得による支出	△12,241	△23,300
投資有価証券の取得による支出	△2,291	△3,017
敷金及び保証金の差入による支出	△137	△496
その他	581	384
投資活動によるキャッシュ・フロー	△69,509	△213,813
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△69,871	△76,141
リース債務の返済による支出	△1,308	-
自己株式の取得による支出	△25	△32
配当金の支払額	△56,027	△70,538
財務活動によるキャッシュ・フロー	△127,232	△146,712
現金及び現金同等物に係る換算差額	32	△17
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	336,822	425,046
現金及び現金同等物の期首残高	4,303,292	4,475,606
現金及び現金同等物の中間期末残高	4,640,115	4,900,653

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(表示方法の変更)

(キャッシュ・フロー計算書)

従来、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めていた「契約負債の増減額」は、明瞭性を高めるため、当中間会計期間より独立掲記をすることとしました。この表示方法の変更を反映させるため、前中間会計期間の中間財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前中間会計期間のキャッシュ・フロー計算書において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に表示していた、△149,195千円は、「契約負債の増減額」△131,390千円、「その他」△17,805千円として表示しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間会計期間(自2023年4月1日 至2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	歯車及び歯車装置	工事	
売上高			
一時点で移転される財	3,128,831	672,556	3,801,388
一定の期間にわたり移転される財	-	363,066	363,066
顧客との契約から生じる収益	3,128,831	1,035,622	4,164,454
その他の収益	-	-	-
外部顧客への売上高	3,128,831	1,035,622	4,164,454
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-
計	3,128,831	1,035,622	4,164,454
セグメント利益	479,255	324,188	803,443

(注) セグメント利益の合計は、中間損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と中間損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当中間会計期間(自2024年4月1日 至2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	歯車及び歯車装置	工事	
売上高			
一時点で移転される財	3,227,750	648,403	3,876,153
一定の期間にわたり移転される財	—	365,788	365,788
顧客との契約から生じる収益	3,227,750	1,014,192	4,241,942
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	3,227,750	1,014,192	4,241,942
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	3,227,750	1,014,192	4,241,942
セグメント利益	517,306	373,434	890,741

(注) セグメント利益の合計は、中間損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と中間損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。